
19. 町並み保存活動を古木屋バンクシステムで活性化

川尻六工匠
(熊本県熊本市)

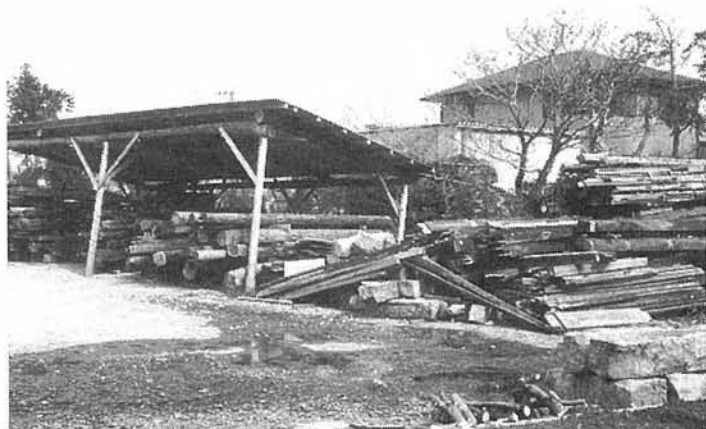
I. 活動の背景と目的

川尻地区は熊本市の南端に位置し、人口は約9,500人、世帯数は2,800世帯である。この地区には天明新川・無田川・平野川・加勢川・緑川と川が5本流れ、昭和初期までは水上交通の要所であり、商業の拠点として栄えていた。しかし、繁栄を誇った川尻も近代になり、陸上交通の発達及び社会、経済構造の変化に対応できず、昭和15年に熊本市と合併し、以後も次第に衰退の途をたどり、熊本市域のなかでも取り残された地区となった。逆にこのことが幸いして、江戸期の町筋や土蔵造りの商家、昔ながらの町家が群れとして残っている。

建築関係業者はどここの町にも必ず存在する。そこで、平成5年に建築関係業者が集まり「川尻六工匠」を組織し、古い町並みの景観保全とまちづくりの活動を行ってきた。古い建築（能舞台や寺、蔵）を利用してのイベントを開催し、その利益金で自動販売機を板で囲い、又、郵便受け・長椅子・ゴミ箱も木で作し、街角にグランドファーニチャーとして、200ヶ所程設置し、川尻の町並みの景観作りに取り組んでいる。町並み保存は、やはり建物本体を残すことが一番である。しかし、コストの問題がある。家主は町並み保存に理解は示してくれるが、コストがかかりすぎて、結局は解体・新築となるのが現状である。そこで、やむなく解体される建物から、梁・柱・建具・石等の部材を基本的にただでもらい受け、「古木屋バンク」で保存・ストックし、古い建物の保存再生時に再利用することで、建築費の低減を図ることを考えた。

II. 活動の内容

今まで私が建築再生の設計をしていた関係上、解体情報がよく入ってくる。その為、今回の財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団の助成金を受け、木材や建具の収納庫を3棟建て、古材等を保存・ストックした。現在、梁・柱が150本、建具が500枚、床の間材が20枚、石が100個、天井・壁板が100枚程集めることができた。川尻の瑞鷹酒造の古い土蔵が老朽化したので、「古木屋バンク」より材料を供給して、再生工事をする注文を受けた。玄関ドアは「高田邸」より、アプローチの踏み石は「本田邸」より、そしてトイレのドアは「横田邸」より、梁は「中野邸」より貰い受けたものだった。120㎡の物



古木をストックする”金庫”

件が、1,700万円の費用で再生することができ、施主である瑞鷹酒造の社長も、思ったより安くできたと喜んでおられた。今まで、再生建築設計は5棟の経験はあったが、この建物は「古木屋バンク」のシステムを利用しての再生工事第1棟目である。このことで、川尻町においては今後、財津染物店の玄関のアルミドアを古木製建具に変更、奥村骨董屋の玄関廻りを古材で改装する予定である。



再生された蔵（入口、踏台が再利用）



古木が使われた蔵の内部

Ⅲ. 活動の効果および今後の課題

新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等に「古木屋バンク」が紹介された為、問い合わせが30件程あった。内容としては、古材の無料提供から高価買い取りの要求や古材での新築希望等、実に様々であった。当初はローコスト化で始めたのではあるが、建築解体廃棄処分が社会問題化しつつあることで、反響が思ったよりもあり、もう少し幅広く広めてもいいのでは、と思っている。しかし、目の前に立派な梁や柱があるのに収納庫が満杯の為、お断りしているのが現状である。その為、収納庫をもう1棟建て、ストックできる量を増やしたいと考えている。瑞鷹酒造の蔵再生で分かったことは、10本の梁を求める時、長さ・太さ・仕口のことを考えるとその10倍の100本の古材を用意しなければならない。「古木屋バンク」を熊本市域に枠を広げ活動するには、梁の場合でも500本ぐらいのストックが必要ではないだろうかと思う。

もう一つの問題は、古材引きとりがただであっても、レッカー代、運搬代、人件費が突発的にかかる場合や釘抜き、水洗いの手間等を考えると、柱一本当たりの原価が3万円ぐらいになる時もある。レッカー車のリースは1時間でも1日分の賃料がかかり、又、梁などは重いので人件費が4人工かかる時もある。又、解体業者から解体時にきれいに取れた梁を有料で購入しないかという話も来ているので、今後はかなり低原価で手に入ると予想している。もう少し、システム化して原価を現在の半分程度にしたいと思っている。

当初の目的は、川尻の町並み保存の為の「古木屋バンク」であったが、まだ十分に耐久性のある木材が、目の前で処分されるのはもったいない、という考え方で、一般建築業者や設計事務所にも門を広げ、古材リサイクルシステムを一般化して、社会性を高めようと思っている。「古木屋バンク」システムでの再生工事は、最近のパタパタ住宅と違い、かなりの人力を要するので、産業廃棄物の問題以外にも失業問題にも役に立つと考えている。

更なる発展の為に、再度ハウジングアンドコミュニティ財団のご協力をお願いしたい。